

情報交差点・心と心の交わり

# あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



やんばるの自然を英語で発信

**大宜味中、英語スキットコンテストで6位入賞**

第6回沖縄県中学校英語スキットコンテストに国頭地区代表で出場した大宜味中学校が、6位に入賞しました。

このコンテストは、英語によるスキット（寸劇）発表を通して、生徒のコミュニケーション能力の育成を図ることを目的に開催されるものです。

当初は、7月10日（金）にアイム・ユニバース てだこホールで開催される予定でしたが、台風9号の接近に伴い、今回は動画による審査となりました。

大宜味中の演目は、やんばるの自然を題材にした「Mongoose Busters!」。ヤンバルクイナやマングース、マングースバスターズに扮した生徒たちが、やんばるの森の現状について語ります。ストーリーの中には、マングースバスターズやヤンバルクイナに関する豆知識も盛り込みました。

マングース役の前田菜雪さんは、「やんばるの自然や現状について知ってほしかった。貴重な生物を食べるため、マングースが悪いように思われがちですが、マングースは沖縄に来たくて来たわけではありません。生きるためにほかの動物を捕まえたり食べたりしていること、そしてマングースだけが悪いのではないことを伝えたかった」と話しました。

自分たちでシナリオを考え、ALTのサバナ先生の協力のもと英語の台本を作成し、セリフの暗記から演技まで、さまざまなことに挑戦しながら練習を重ねてきたスキットメンバー。

自分たちの英語力を高め、新たなことに果敢に挑戦した結果、県で6位入賞という大きな成果を収めました。おめでとうございます！！

## 見つけて、捕まえて、学ぶ グリーンアノール観察会 2026

8月13日（木）、那覇市の奥武山公園において、令和8年度ぶながやの里生涯学習講座②「今年もやっちゃん!? 続けることで目を養おう グリーンアノール観察会 2026」が行われました。

2年前から実施しているグリーンアノール観察会。特定外来生物に指定されているグリーンアノールは、幸いなことにまだやんばるには生息していません。しかし、見かける機会がないからこそ、どのような生きものなのかを知り、万が一やんばるに侵入した際には、やんばるの子どもたちがいち早く見つけられる目を養い、やんばるの生きものを守る存在になってほしいという思いから、今年も開催しました。



今年の観察場所も奥武山公園。昨年の観察会でも多く見つけた場所です。そして今年は、見つけるだけでなく、捕まえることも大きな目的。さっそく搜索開始です。

日中は体温を上げるために日向ぼっこをする習性があるグリーンアノール。目を凝らして、草や枝、フェンスの上など、グリーンアノールがいそうな場所を探します。

開始早々、グリーンアノールを発見。しかし、見つけることはできても、捕まえるのはかなり難しいものです。相手も必死。フェンスの向こう側や茂みに入ってしまう、なかなか捕まえられません。

グリーンアノール vs 大宜味っ子、今年の結果は・・・？



大きい個体から小さい個体まで、7匹も捕まえることができました。果敢に塀の上からジャンプしたり、茂みや斜面を気にせず登っていったりする子どもたちの姿は、たくましくもあり、ヒヤヒヤさせられる場面もありました。



今年もたくさんのグリーンアノールを見つけることができ、それだけ定着・繁殖していることが分かりました。

観察会後は那覇市立森の家みんなへ移動。昼食を済ませた後、勉強会を行いました。そこで、今日見つけたグリーンアノールがやってきた経緯や、なぜいてはいけないのか、もし見つけた場合はどうしたらよいのかなどを教えてもらいました。

たくさん動き回り、たくさん楽しみ、たくさん学んだ1日となりました。



## 作って、体験して給食の大切さを実感 給食センターのお仕事体験

8月4日（火）、大宜味村立学校給食センターにおいて、令和8年度ぶながやの里生涯学習講座①「給食センターお仕事体験＆チョコチップスコーンづくり」が行われました。

給食センターに着いたら、早速健康チェックです。給食を作る人は健康でなければいけません。自分の健康はもちろん、家族に具合の悪い人がいないかも確認します。

今年も講師は、栄養士の山城理子先生。はじめに、給食が作られてからみんなのところに届き、食べ終わって片付けをするまでの、給食センターの1日の作業について教えてもらいました。

そして、みんなが楽しみにしていた調理実習。今回はチョコチップスコーンを作ります。

何をするにも、まずは手洗いから。指先や指の間、手の甲などがしっかり洗えているか、手洗いチェッカーを使って確認します。



準備ができたなら、いよいよ調理開始。材料を混ぜて成形します。丸や三角だけでなく、動物の形にするなど、一人一人が思い思いの好きな形を作りました。



スコーンをオーブンに入れたら、今度はお仕事体験です。

「野菜を洗う」「大鍋での調理」「食器の洗浄」「コンテナの積み込み」の工程を、グループに分かれて次々に体験します。今回は材料の代わりにカラーボールを使ったり、火を使わず水の中で作業したりしますが、実際に給食を作るときは、食材を切ったり、熱い鍋で調理したりと、体験以上に大変な作業です。また、給食は決められた時間内に作り、みんなのところに運ばなければなりません。これを毎日行っている給食センターの皆さんの大変さがわかりました。

おいしいスコーンも焼き上がり、給食が作られてみんなのところに届くまでの作業を知り、作ることの楽しさや大変さを知ることができた1日となりました。



## よりよい大宜味中にするために 生徒会執行部でリーダー研修



8月24日（月）、大宜味中学校多目的室において、名桜大学の島康貴先生を講師に招き、生徒会リーダー研修会が行われました。この日集まったのは、生徒会執行部のメンバーです。まず、自分たちが思うリーダー像を共有しました。とはいえ、全員が同じリーダーを目指すわけではないため、5つのリーダーシップ（変革型・カリスマ型・サーバント・エシカル・オーセンティック）の中から、自分はどのリーダーシップを目指すのかを発表しました。

その後、県内の低学力問題を打開するために、「大宜味中を日本一資格保有率が高い学校にする（卒業する時には生徒全員が何らかの資格を取得する）にはどうしたらよいか」をテーマに、各班で意見を交わしました。話し合いの中では、「1日の勉強時間から計算すると、資格取得には2か月で70時間の勉強が必要だ」、「自分が英検を受けた際にALTの先生に指導してもらった経験を生かし、どのようなサポート体制が必要だったのか、誰に頼めばよいのかなどを伝えていきたい」といった意見が出されました。

このワークショップでの練習を経て、大宜味中学校についてのグループディスカッションが行われました。

大宜味中学校の良い点としては、「先輩後輩関係なく仲が良い」「学校がきれい」などが挙がる一方で、「ノーチャイム着席ができていない」「授業中にうるさい」などの課題も挙がりました。そこで、課題を解決するために自分ができること、組織としてできることについて改めて考え、意見を出し合いました。

研修を終え、3年生の東圭史郎さんは「5つのリーダーシップはどれもよいと思った。今の大宜味中には、変革型やカリスマ型のリーダーシップが大事だと思う。ここにいるリーダーが大宜味中を引っ張っていくので、応援してほしい」と話しました。

たくさん考え、自分の意見を伝え合った生徒会執行部。一人一人が力を伸ばすリーダー研修会となりました。



## 先生たちがワクワク！魅力ある学校づくりを考える 地区研修会を実施

8月24日（月）、大宜味小学校多目的室において、子どもの学び探求アドバイザーの仲嶺香代先生を講師に迎え、令和8年度子供の学び探求イノベーション事業第1回地区研修会が行われました。

この研修会は、小中学校の先生方を対象に実施されたもので、「行きたい！学びたい！」と思える魅力ある学校づくりについて、参加者全員で意見を出し合いながら考えていくものです。

仲嶺先生から、総合的な学習の時間を核としたキャリア教育の推進について講義を受けた後、児童生徒が探究的な学びを行うための方法について、6つのグループに分かれて話し合い、発表しました。

研修を振り返り、中学校の新城周子校長先生は、「今日、話し合っている先生方の表情がとても良かった。先生たちのワクワクが子どもたちにも伝わるよう、一緒にワクワクを探究してほしい」と話しました。

子どもたちが「行きたい！学びたい！」と思える大宜味小・中学校をつくるため、先生方も日々学びに励んでいます。



## 第2弾「わんぱくキャンプ 2026」

## 火を起こすってこんなに大変!? ～ 令和8年度わんぱく体験団

8月20日（木）～21日（金）、大宜味村農村環境改善センターにおいて、令和8年度わんぱく体験団②「わんぱくキャンプ 2026」が行われました。

昨年になかった何もない山でのキャンプ。今年こそ…と思っていましたが、まさか、まさかの今年も通行止め。新たな道も探しましたが、マイクロバスでみんなを連れていくことが不可能とわかり、今年も海岸でのキャンプとなりました。やってやろうじゃない、2年続けて海でのキャンプ。予定では当日の天気は雨。雨が降ったら、テントはどこに立てる？ごはんはどこで食べる？いろいろ悩みましたが、天気も読めないし、とりあえずその時になったら考えよう！



そして迎えた当日。みんなが集まったお昼は晴れ。いけるかもしれない。期待しつつ、キャンプの準備に取り掛かりました。テントやかまど、鍋に飯ごう、ランタンなど自分たちで使うものは自分たちで準備します。もちろんきれいに使いたいののでしっかり洗います。外で調理するためにはたくさんの道具が必要。大変だけど頑張ります。

荷物を運び終えたら、今度は火を起こすために必要な薪を集めます。やみくもに枝を拾えばいいわけじゃない。かまどに入りそうな大きさで、よく乾いてる枝、竹は火にかけるとはじけるのでNG。大きな枝から、小さな枝まで集めます。自分たちが拾った薪で今日の夜と明日の朝の炊事分。量も質も拾ってきた自分たちの責任です。



改善センターに戻ってきた団員達。準備も整った、さあキャンプ開始です。とは言ったものの、山側に立ち込める雨雲…、事務局もここが決断の時。とりあえず、カレーは改善センターの調理室で作ろう！ご飯は飯ごうの準備までして、外で火を起こして炊こう。テントはご飯を食べてからどこに立てるか考えよう。妥協案です。調理を開始すると、外は大雨。良かった～ε-(´▽`)ホッ カレーモシチューも大まかな作り方だけ教えて後は団員任せ。カレーが大体できたら、今度は飯ごう炊さん。外に出て火を起こそう。かまどに小さい枝から順に枝を組んでいって、枯れ葉に火を点け、順々に燃やしていきます。が、火が点かない…、全然燃え移らない…、火がすぐ消えちゃう…。そうこうしている間にマッチも残りわずかに…。急遽追加のマッチを持ってきてもらい何とか火を点け炊飯開始。後は火が消えないように枝をくべ続けることが大事。目が痛くても頑張ろう！火を点けるのには苦労しましたが、ご飯の炊きあがりほどの班も完璧。素晴らしい。



お腹いっぱいになりました。すっかり遅くなってしまいましたが、テントを立てよう。雨もいつ降るかわからないので、しかたなく改善センターの中で泊まることとなりました。ペグを打つことはできないけれど、何とかテントの立て方はわかったかな？テントを立てたらもう寝よう。ってか、もう寝る時間。お願いだから、早く寝て。翌朝、あっという間にテントを片付け、またまた火起こしに手間取り、ご飯を炊き、おいしい朝食にありつけたわんぱくたち。全ての片付けを終えたら、今度はやんばる世界遺産センターへ。迫力ある映像やささまざまな仕組みに驚きながらやんばるの自然を感じました。天気に左右され予定通りにはいきませんでしたが、なかなか楽しいキャンプとなりました。

令和8年度 第2回

小中合同拡大授業参観  
学校保健委員会講演会 開催のお知らせ

開催日：令和8年9月11日（金）

場 所：大宜味小・中学校

講演会講師：大塚義也先生（スクールカウンセラー）

1. 地域教育懇談会の替わりになる行事です。  
どなたでも学校へ足をお運びください。
2. 小中合同拡大授業参観は、年間3回を計画。  
次回は令和9年2月7日（日）！

大宜味村学力向上推進委員会 大宜味村教育委員会

| 日程                                  | 小学校            | 中学校            | 参加者の皆様              |
|-------------------------------------|----------------|----------------|---------------------|
| 1校時<br>小8:25～9:10<br>中8:30～9:20     | 各学年授業          | 各学年授業          | 自由にご参観！             |
| 2校時<br>小9:20～10:05<br>中9:30～10:20   | 4～6年生<br>講演会参加 | 各学年授業          | 小学校保護者は<br>講演会へどうぞ！ |
| 3校時<br>小10:20～11:05<br>中10:30～11:20 | 各学年授業          | 1～3年生<br>講演会参加 | 中学校保護者は<br>講演会へどうぞ！ |
| 4校時<br>小11:15～12:00<br>中11:30～12:20 | 各学年授業          | 各学年授業          | 自由にご参観！             |

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第7回 教育委員会会議 令和8年7月30日（木）午後4時開催

＜審議事項＞

|        |                           |      |
|--------|---------------------------|------|
| 議案第22号 | 令和9年度使用小学校教科用図書の採択について    | ＜可決＞ |
| 議案第23号 | 令和9年度使用中学校教科用図書の採択について    | ＜可決＞ |
| 議案第24号 | 令和9年度使用特別支援関係教科用図書の採択について | ＜可決＞ |

図書室情報 No.85 2026年（令和8年）9月 大宜味村図書室（旧議会棟）  
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

米須邦雄氏より著書「ぬーふいぬくとう」寄贈



米須氏が教育長就任時の2015年10月から2023年6月まで「あじまー」へ寄せたコラムを編集した冊子を7冊いただきました。  
懐かしい！とつい声が出てしまうコラムが満載です。  
ページをめくって少し思いをはせてみませんか!?

ご希望の方へ… **先着 20 冊** 配布いたします。教育委員会までお問い合わせください。

🐼 外来種って知ってる？ 🐼

一般財団法人沖縄県環境科学センターより依頼を受け、外来種に関する普及啓発資料やグッズ等の無料配布コーナーを設置します。

来室の際はご自由にお持ち帰りください（^^♪

設置期間 ➡ 2026 9/16水～10/5 月 予定



9月図書室カレンダー 閉室日：

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |

|                    |
|--------------------|
| 8月の統計（8/21まで）      |
| ○来室者数…のべ58人        |
| ○貸出冊数…90冊          |
| 現在の蔵書数…10,277冊     |
| ●利用状況累計（2019年9月～）● |
| ○来室者数…のべ5,288人     |
| ○貸出冊数…8,428冊       |
| ○登録者数…211人         |

合い言葉は  
学校へ行こう！

コミュニティ・スクールだより

令和8（2026）年9月1日 第2号 発行：大宜味村教育委員会・大宜味小学校・中学校

夏休みも終りに近づき、子どもたちが宿題の仕上げに追われている頃、CS（コミュニティ・スクール）に関わる大人達もたくさん勉強しました。

8月21日（金）には第2回学校運営協議会が開催され、前回の会議であがった「表現力を高める」という課題について学校・保護者・地域が出来ることを、グループ別に熟議を行ったうえ全体の方針としてまとめ、今後の活動の指針とすることを承認しました。その中で出た意見を少し紹介します。

学校では、ロールモデル（先輩）を見せる、子どもの居場所（放課後教室）、自己肯定感を持たせるための勇気づけ、些細なことでも褒める教育など、また行政への要望として、無料村営塾を通して確実な自己肯定につながる学力向上。家庭においては、曜日や時間を決めて親子でNOデジタルアワー（スマホを置いて家族で会話）、日々のあいさつの徹底など、地域では子どもの居場所やイベント時に役割を持たせたり発表の場を設けるなどがあげられました。



グループ討議の様子（学校運営協議会）



また、今年度からCS指定校となっている大宜味小学校・中学校では、8月24日（月）に小中合同研修として「子供の学び探求イノベーション事業第1回地区研修会」が開催され、アドバイザーの仲嶺香代氏による「総合的な学習の時間を核としたキャリア教育の推進」と題した講演が行われ、小中の先生方は熱心に聞き入っていました。

「失敗しづらい社会は挑戦しづらい社会」であり、教師は子どもたちに「失敗しても大丈夫！」というメッセージ

を送り続けること、その中から子どもが自分なりの問いを立て、多様な価値観の中から感性を働かせ自分で決め論理的に伝える力を育むことができると説きました。そして、浦西中学校や石嶺中学校での実践の様子、その成果として堂々と自分の考えをプレゼンする生徒たちの映像が披露され、YouTubeで配信される「TED」さながらの迫力に一同圧倒されました。後半は小学校（低・中・高学年）、中学校



発表の様子（小中合同研修）



（各学年）の六つの区分でグループ討議を行い、大宜味村らしいテーマや手法などについてユニークな意見が続出、最後はグループごとにまとめて発表し、今後の授業に生かしていくことを確認しました。

新推進員の紹介



前任の河津多恵子が都合により退職、後任に金城久子が着任しました。よろしくお願いします！

2学期始動に向け大人も額を寄せ合い勉強の日々…



## 政信教育長のあじま～コラム

「育てたい子ども像（校訓）」

学校は、子どもたちの充実した学び・育ちのために、開かれた場にすることが大切だと思います。学校が、学校のみで教育を完結しようとするのではなく、保護者や地域の人たちなど様々な人と手を携えて、時代の空気を取り入れながら、みんなで学校を創っていくということが、社会や学校教育を取り巻く課題が複雑化、多様化している状況において、より一層、重要になっているのではないのでしょうか。

それを実現するために一つの方策が今年度より導入を始めたコミュニティ・スクール（以下CS）です。具体的には保護者、地域住民等で構成する学校運営協議会において「目標やビジョン」を共有し、それを学校地域協働活動において実践していきます。

去る6月、第1回学校運営協議会を実施しました。CSの役割の一つ学校長の経営方針の承認を議題としました。どのような子どもを育てようとしているのか、育てたい力は何かが等、経営目標設定の意図や達成の手立てについて熟議を行いました。

さて、学校経営目標には、知・特・体で表すものと、一言で表すものがあります。小学校では「笑顔きらめき、学び続ける大宜味の子」中学校では、もっと端的に校是として「可能性を拓く」と設定しています。この校訓や校是も時代共に変わっていきます。

近年は「自主・自立、可能性、学び続ける」等が多く見かけられます。旧大宜味小学校が閉校にあたって、子どもたちと共に学校に歴史を残そうと「ふるさと学習」に取り組んだ際、学校に残る様々な石碑を調べたグループがいました。その中で「よく学び、よく遊び、よく働け」（体育館の近くに今も残っている）という校訓の石碑を見つけました。「よく働け」には衝撃でしたが、子どもも家の働き手として大事な時代だったのでしょうね。さらに、衝撃だった校訓は15年ほど前、交流で訪問した八丈島のある中学校の「紳士たれ 淑女たれ」というものです。

子どもたちが大宜味小、中のそれぞれの校訓・校是に向かってたくましく育つよう見守っていきましょう。

### 今月の生きもの

### オキナワノコギリクワガタ：クワガタムシ科



今年は台風の当たり年ですね～。

どうも、私オキナワノコギリクワガタです。

台風が来るので雨戸の下に隠れていたら、見つかったちゃいました。スラリと伸びた顎が私の特徴。カッコいいでしょ？

この辺りだとよくシークワサーの木にいます。

姿がいいおかげで捕まえられることも多いけれど、本当は野山で静かに過ごしたい。自然の中にいる私が生き生きしてカッコいいと思うんだけどな。

### 🏠 9月の行事予定 🍇

|                                                    |                           |
|----------------------------------------------------|---------------------------|
| 1日（火）区長会（園）2学期始業式（幼児部）                             | 21日（月）敬老の日                |
| 11日（金）（小中）授業参観<br>（小中）学校保健委員会講演会<br>（園）避難訓練（火災・消火） | 22日（火）シークワサーの日 国民の休日      |
| 12日（土）わんぱく体験団③                                     | 23日（水）秋分の日                |
| 13日（日）村長・村議選挙                                      | 24日（木）定例教育委員会議            |
|                                                    | 25日（金）（園）お弁当会（4・5歳児）      |
|                                                    | 26日（土）国頭郡ミニバスケット交歓会 ～ 27日 |

9月3日



グミの日

今年は台風の当たり年です。子どもの頃と変わらず、平日に休みになることは少しウキウキします。年休をとって休むのではなく、台風だからしかたなく休んで、家でのもんびり過ごすことが優越感があるんです。台風後の片付けは大変だけども…。